

生駒山麓太鼓保存会 定期公演 生駒伝説～青龍の章～

回覧

IKKOMIA
SANROKU

TAIKO
HOZONKAI



日時 2017 3月5日 日 開場 13:00 開演 13:30

会場：北コミュニティーセンター ISTAはばたき 〒630-0131 奈良県生駒市上町1543

入場料：¥1,000〔自由席〕未就学児入場無料 ※座席ご使用の場合はチケットが必要です。

主催：生駒山麓太鼓保存会・鼓手会
後援：生駒市 生駒市教育委員会 生駒商工会議所 奈良県太鼓連盟

※当日は混雑が予想されますので、公共交通機関をご利用下さい。

お問い合わせ

生駒山麓太鼓保存会事務局（生駒商工会議所内）
TEL 0743-74-3515 生駒市元町1-6-12

生駒伝説

ikoma mythology

青龍の章

前公演「朱雀の章」あらすじ

この辺りの村は恵み豊かな土地で、人々は幸せに暮らしていた。ある年、火の守り神であった朱雀が姿を消し、世の中は長く暗い冬の世界に閉ざされてしまった。作物は枯れ、山の獲物は姿を隠し、飢えと寒さが村人たちを覆った。

人々は朱雀を探し求める事にした。それはたやすいことではなく、幾多の困難と犠牲を乗り越え、ついに朱雀を見つけ連れ帰ることができ、村は以前のように豊かになった。

本公演「青龍の章」あらすじ

村は豊かになり、山の中腹にこんこんと清水の湧く池ができ、村人たちは大事にこの池を守り、いつしかこの池には龍が棲むとまで言われ、龍神の池と呼ばれるようになった。豊かさが長く続くと、人々は神を敬うことを忘れ、池を守る心も失っていった。ただ一人身寄りの無い村娘、タエだけが荒れはてた山道を登り、龍神池に祈りを捧げていた。

そんな中、タエは池のほとりで若者と出会う。いつしか二人の間に友情が芽生えてくる。村の田畑は次第に荒れてきて、ある年の夏ひどい干ばつに襲われる。作物は育たず、雨乞いをするも雨の降る気配も無い。人々は龍神池の水を利用しようとするが、池の水も底が見えるほどに。龍は水を分け与える代わりに生贄を差し出せと命じる。村人は龍退治を試みるもかなわず、生贄の恐怖に嘆き悲しんだ。そんな姿を見てタエは自ら生贄になることを決意して慣れた山道を龍の棲む池まで行くことに。そこで若者が龍の化身であること、池の水が村人の祈りの心で湧き出していたこと、タエの祈りでかろうじて池の水が保たれていたことを知る。

龍は自らの身体を雨に変えて村に降り注ぐ決意をする。タエは龍を哀れに思い、二人で寄り添って雨になろうとする。

生駒山麓太鼓保存会

生駒商工会議所青年部が中心になり結成。発足当時より、専門家の厳しい指導のもとに練習を重ね、平成3年6月に生駒山麓太鼓保存会を結成。今年で26年目を迎え、鼓手一同日夜研鑽に励んでいます。

会場アクセス

北コミュニティーセンター ISTAはばたき 〈はばたきホール〉

〒630-0131 奈良県生駒市上町1543

近鉄けいはんな線白庭台駅から徒歩約8分、学研北生駒駅から徒歩約10分

※当日は混雑が予想されますので、公共交通機関をご利用下さい。



イクマニア

※本公演は「イクマニア」認定事業です。

チケット販売

生駒商工会議所

生駒市元町1-6-12-6F

北コミュニティーセンター ISTAはばたき

生駒市上町1543

南コミュニティーセンター せせらぎ

生駒市小瀬町18

たけまるホール

生駒市北新町9-28

生駒市アンテナショップ おちやせん

生駒市北新町10-36-304 (バルテラスいこま3階)

各種お問い合わせ先

生駒山麓太鼓保存会 事務局 (生駒商工会議所内)

☎ 0743-74-3515

〒630-0257 奈良県生駒市元町1-6-12 セイセイビル6F

E-mail. info@ikomacci.or.jp

IKOMA SANROKU TAIKO HOZONKAI office

Seisei Bldg. 1-6-12, Motomachi, Ikoma, Nara 630-0257, JAPAN

Call. +81-743-74-3515 E-mail. info@ikomacci.or.jp